

ーズン中 6回～10回清掃消毒を実施してきた。

#### ◎本年度参加者

高等学校教諭、生徒および清掃人夫延 127人

#### H 企業体指導者研修会

##### a, 概要

企業体内における新生活運動の浸透をはかるため、地域事業所の労務担当者、新生活運動指定事業所の経営者、従業員、家族、さらに都市における商店経営者を対象として研修会を開催し、運動のあい路打開策を研修した。

##### b, 期日および場所等

月日	会 場	対 象	講師氏名
10月25日 ～26日	常磐市鹿島 会館	常磐炭礦および 周辺事業所の經 営者、労務者、 家族 64人	前日経新聞論説 委員 神田 道徳 平労政事務所長 鈴木 栄三 社教主事 丹野 清栄 吉田 徳治 湯本公民館長 島崎 忠光
10月27 ～28日	日東紡績郡山 第2工場	日東紡績従業員 及び周辺事業所 の經営者、労務者 家族 70人	神田 道徳 郡山労政事務所 長 和知 二郎 社教主事 丹野 清栄 石塚 忠光 日東学院長 宗 威彦
2月 3日	福島市公民館	市内商店経営者 商工会議所役職 員 38人	福島少年婦人室 長 水沢 玲子 福島市公民館長 星 正治 福島市商店連合 会長 斎藤 義助 県社会教育課長 中島 茂

#### d, 期日および日程

月 日	場 所	内 容
12月 1日	福島市土湯 青少年の家	開会式 オリエンテーション
2日	〃	研究討議 (事前研修)
3日	出発 第1班 原町市 第2班 二本松市 第3班 須賀川市 第4班 猪苗代町	現地における受入式 オリエンテーション 農家分宿
4日	各地区	午前 農家において 奉仕研修 午後 公民館等にお いて青年団、社 教関係者、農協 関係者等との話 合 夜間 部落における 懇談会
5日	各地区	午前、夜間は 4日に 同じ 午後 優良農家診断
6日 7日	各地区周辺の優良 地区、公民館、工 場等へ旅行	午前、夜間は 4日に 同じ 午後 視察調査
8日	各地区	午前、夜間は 4日に 同じ 午後 研修の整 理まとめ各班の 報告と意見交換 地区民とのお別 れパーティー
9日	出発 信夫郡飯坂町 (県婦人会館)	午後 奉仕研修の整 理まとめ各班の 報告と意見交換 夜間 キャンプファ イバー
10日	〃	閉会式、解散

#### I 新生活運動青少年奉仕研修事業

##### a, 目的

新生活運動に青年の活気をふき込むとともに、地域活動の中核的実践家を養成するため、指定地区の青年を県内優良地区に派遣し、その地区的活動状況等を調査研究して、本県新生活運動の飛躍的発展を期することを目的とする。

##### b, 参加者

指定地区の青年で将来中核的活動家として期待できる18才から25才までの男子青年とし、1地区 2人宛計40人とする。

##### c, 派遣地

県北 二本松市石井地区 10人

県南 須賀川市稻田地区 10人

会津 猪苗代町長瀬地区 10人

浜 原町市大甕地区 10人